

人と電気を未来へつなぐ。

# TD 高浜電工株式会社

事業内容

電気設備・自動制御装置・天井走行クレーンの設計、  
工事、メンテナンス/一般住宅電気工事

設 立	1945年 12月21日
資 本 金	3150万円
従 業 員 数	47名
売 上 高	1256百万円
代 表 者	代表取締役社長 高桑 雄司

〒444-1321 愛知県高浜市稗田町1-7-8

TEL 0566-53-1490

FAX 0566-52-6777

高浜電工

検索



<http://www.takahamadenko.com>

# 絶対的 職場楽しみ主義の

# 高浜電工(株)



# 高浜電工のキャラを

# 生み出す濃いめの社員たち

高浜電工は主に愛知県内のオフィス・工場や一般住宅で必要とされる電気工事を行う会社です。それぞれの関心事や得意なことを活かして仕事を楽しむ社員たちを、タイプ別にご紹介します。

## FILE.1 「やりたい」を極める マルチプレイヤー タイプ



## 腕のいい職人を徹底観察してしまう 負けず嫌いでスミマセン。

電気工事部 安藤 敏 (1995年入社・専門卒)  
やるからには何でも一番じゃないとイヤ。「あの人の工事の腕はかなりいいよ」と聞けば、その瞬間からライバル。10歳20歳、年上だろうが関係ありません。何がすごいのかをこっそり観察してみたら、段取りの仕方が全然違うことに気づく。じゃあ、腕のいい人たちの段取りのいいとこ取りをすれば最強じゃね? ってことで、協力会社10社の職人さんを徹底観察&ノウハウを盗んだ結果が、今の安藤オリジナルなのです。工事の図面や官公庁への提出書類の作り方で、もっと良くできそうなのになあと思った30代前半の頃。建築士や他業種の工事士の話を手当たり次第聞いてみて、いい方法は社内に展開してみたこともあった。数えだしたらキリがないくらい色々やってきた。すべてはNo.1になるため…(ギラつきすぎ?)最近、現場メンバーのモチベーションを向上させるためのコミュニケーション術を、手を替え品を替え、試し中。「マネジメントをやらせても安藤すげえ!」って言わせる!

## 料理を極める匠の電気工事士、 本日も大まじめにクッキング講座。

営業部 磯貝 英児 (1994年入社・専門卒)  
みなさん、IHクッキングの試食会「鶏のオープン焼き」、早速始めますよー。IHだといのはね、お肉の脂がほどよく落ちて、皮はパリッと中はジューシーな食感になること。これはねえ、僕が実証済みですよ。焼き野菜も油で炒めなくていいから、野菜本来の美味しさが味わえるんです…。料理のことならほとんどこい試食会当日のようにいろんなコツをお話しますよ。実は私、実家が飲食店を営んでいるんです。その関係で調理士の免許を持っているんですが、まさか電気工事屋で料理好きが活かせるなんて思わなかった。会社として一般住宅向けのサービスを強化しつつある今、IH調理器は魅力的な商材。しばらくは「電気工事士兼料理人」の二刀流を極めていきますよー。次回のクッキングはクレープだな。アレンジ用の材料は抹茶パウダーに生クリームにチョコレートソースに…ああ、当日が楽しみだなあ。



## FILE.2 大好きな 趣味を 仕事に活かす タイプ



## 化学式なら分かるのに、僕はなぜ 電気回路図と闘ってるんだああ。

装置制御部 新美 明太 (2012年入社・大学→専門卒)  
あの…そもそも僕、化学畑出身で物理が苦手なんです。なのに、縁あって電気の世界の扉を叩くことになったんです。結果どうなったか? そりゃあもう大苦戦! 工場のコンベアを動かしたり止めたりするのに必要な、制御機器の設計・修理をするんですけどね。まず設計のための電気回路図を書くのが非常に難しい。修理は簡単なんでしょ? って思うだろうけど、違うんです。不具合があるのはプログラムがソフトか? それともマグネットスイッチ? タイマー? デイレーリレー? まずどこが悪いのか探して当てるのに一苦労。もしソフトが悪ければ制御機器修理の深い沼から抜けられず…も、もうダメだあああ!! 制御機器の工事ができることは会社の強みだし、それを担える誇りはなくもないんですけど…。なんとかがかっていているのは、職場の居心地がいいという、これに尽きる。安藤さんと磯貝さんみたいにフレンドリーに話しかけてくれる人が多くて、話しベタとか関係なく楽しい。でも、頼りにしている上司の森さんは間もなく定年退職しちゃいます。なのに僕の役職は上がっていく。どうすんの? どうすんの俺〜!!

## FILE.3 職人の道 まっしぐら タイプ

## 学生時代の野球部に学んだ マネジメントの原点。

営業部 中村 武 (1985年入社・高卒)  
学生時代、野球部で気づいたことがある。監督や先輩が厳しくて部員が萎縮してばかりいると集団の活気がなくなる、ということだ。その経験があって、自分の後輩たちには、それぞれの長所を活かしてのびのびと成長してほしいと常々思っている。なかでも、最近気にかけているヤツがいる。新美だ。時々マイナス発言もあるが非常に頭脳明晰で、今後後輩を引っ張っていく力を持っている。やればできる実力を持っているのに「できないかも」と言うので、その時だけは叱った。と同時に、彼への期待を語った。期待されていることを実感できない人は成長できないから。そんな言葉が効いた…のには分らないけれど、最近自分から打ち合わせを持ちかけてきたり、前向きな様子が見えるようになってきた。とても嬉しいぞ。更に成長できるようにサポートしてやらないといかん。彼だけじゃない、後輩全員だ。みんなをよく観察して、それぞれに適したサポートをして、活気のあるチームを作る!

## FILE.4 社内を立ち回る 後輩想い 120% タイプ



## FILE.5 日進月歩の 業務改善 タイプ

## 大人気のクッキング体験で反省した おもてなし目線の大切さ。

営業部 河野 恵 (2011年入社・大卒)  
地域にお住まいの方向けに、会社が年2回主催している「防犯・防災イベント」。屋台を出したり、親子で電気工事体験ができたり、ちょっとしたお祭りのような雰囲気なのね。この間は来場者がなんと100組を超える賑わいっぶり!…なのはいいものの、自分の担当していたIHクッキング体験コーナーの周りで渋滞が起こってしまい、準備不足をすごく反省しました。「次回からは体験用の材料を小分けにしてすぐ渡せるようにする」「並ぶ場所の標識をつくって掲示する」などの反省点を後輩と共有し、翌日には改善書も上げてもらいました。改善できるポイントって意外と身近にあるんだよね。空調ひとつで職場環境の重要な要素。現場の人と内勤メンバーだと体温温度にズレが生じやすいんです。じゃあお互いのちょうどいい温度設定になるように温度計を導入したらいいんじゃないか? とか。そんな小さな積み重ねが、より働きやすい環境をつくるのに大事なんだ!!

## 半田付けに明け暮れた高校時代。 次ハマるのは制御機器設計か?

装置制御部 池上 直樹 (2014年入社・高卒)  
高校で所属していたのは見貴のいる電子研究部。愛知県の工業高校生が技術を競い合う「総合競技大会」、「ロボット競技大会」の出場を目指して日々地道に活動していました。大会間近になると土曜日も登校して日が暮れるまで練習したり…。そうですね、オタクと言われても否定はできません。「半田付けなら池上に任せとけ」と周りからお墨付きをもらっていたので、総合競技大会には「電子回路組立」の部門で出場することになりました。土曜も活動した努力が実り、18人中3位入賞!しかし見貴が1位という悔しさが残る。次は負けるもんかと挑んだ東海大会では逆転し、8人中3位に入賞できた。かなり嬉しかったです。こんな感じで電気とともに青春を過ごしてきたわけですが、入社してからは制御機器の設計という新しいフィールドで奮闘しています。特にソフトを組むのが難しいのですが、理解できた瞬間の快感は半田付けの楽しさと通ずるものがある。これはのめり込むぞー…。電子研究部での健闘ぶり、会社でも発揮できるようにがんばるぞー!!

## FILE.6 電気面白さに どっぷり タイプ



### Column

## 事務社員 → 専業主婦を経て 異例のママ電気工事師! (…ってスゴくない?)

電気工事部 杉浦 美砂 (2018年4月入社(不定)・大学→専門卒)  
「そろそろ再就職しようかな」と思っていた頃。電気工事屋さんに工事を頼んだ時がありました。もちろん来たのは男性。ふと、同性の方が家に入ってもらうのは安心だなあと思ったのです。あとは、細やかな対応もしてもらえそうだし、何より会話が弾みそう。あれ?もしかして、女性電気工事士の需要って結構あるのでは?再就職の道に「電気工事士」という選択肢が急速浮上。いやいや、工事士になるなら専門校に通わなきゃいけないでしょ!「でも…やるなら今がチャンスじゃない?」思い立ったらすぐ動かしにいられない性分なんです。家族との合意を勝ち取って専門校に入学。現在猛勉強中。業界的にはかなり異端児ですが、新たなステージに期待が膨らんでいます!!

## 番外編 畑違いの分野から チャレンジ タイプ



# 高浜電工ってどんな会社?

一般的な電気工事だけでなく、工場で使用される制御機器や天上走行クレーンなどの設計・工事・メンテナンスも行っています。取引の長い顧客が多いのが高浜電工の特徴です。



## 電気工事部

工事の種類は大きく分けて2つあります。ひとつは電柱に設置されている変圧器から建物の間を結ぶ「引込線工事」。建物で使う電気の容量が増えてくると、容量に適した電線サイズに変更したり、劣化した電線を張り替えたりします。2つ目は、建物に届いた電気を実際に使用できる状態までつなぐ「内線工事」。受電した電力を施設の設備に適した電圧に変換するための工事をはじめ、コンセントの設置、照明や電気機器(冷暖房設備、防災・防犯設備、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーシステム・省エネシステム)の工事など、内容は多岐に渡ります。特に工場で発生しやすい照明器具や電気機器の故障といった様々なトラブルに緊急対応できるメンテナンス力が私たちの強みです。

中部与東の電気工事会社が技術を競う技能オリンピックで二度の総合優勝の栄誉あり!



## 装置制御部

工場の製造ラインを自動で動かす制御機器を中心として、製品の製造時に発生する汚水・排水などの制御機器の設計・工事・メンテナンスを行っています。高浜市の地産産業である瓦の製造ラインに長年携わっていることから、製品の原料を溶かしたり、焼成するための電気炉・焼成炉などの温度計測を制御する機器にも対応しています。現在は大手自動車部品メーカーや世界展開するセラミックス製造メーカーのライン制御にも携わり、最先端の制御技術のニーズに応えています。設計・工事・メンテナンスともに高度な技術が必要とされるため、技術者として一人前になるまでに要する時間はなんと約10年。一生もののスキルが身につきます。

高度な技術で高浜電工の幅広い施工力に一役買う!



## 機電部

工場で生産されるすべての製品は、材料(資材)を倉庫から搬入しなければなりません。そんな時に必要になるのが、「天井走行クレーン」。倉庫内にある重い資材も自在に移動できるクレーンです。機電部では、主にこのクレーンの設計・施工・メンテナンスを行っています。特にメンテナンス業務は重要です。大きい工場だとクレーンはひとつの敷地内に100台ほど設置されており、もし故障すると生産がストップしてしまいます。メンテナンス業務はものづくりの現場にとって、なくてはならない存在なのです。また、天井走行クレーンの施工・メンテナンスを行う電気工事は早内レベルで見ても非常に少ないため、機電部の存在は大きなアドバンテージなのです。

デンソーをはじめとした大手メーカーなどの年間1000台を超える工場クレーンメンテナンス!



## 一般住宅部

電気工事部で培ってきたノウハウを活かして、一般住宅に関する電気工事を行っています。太陽光発電や電気自動車充電システムなどの省エネ設備を始め、センサー技術や照明技術を活かした防犯システムの構築、災害時のライフラインを確保する浄水設備や自家発電設備の設置など、幅広く施工を行っています。また、今後も需要が見込まれるIHクッキングヒーター、給湯器のエコキュートなどの電化リフォームにも対応。一般的には社内備蓄しない電線やスイッチなどを在庫として保有しているため、急なトラブルにも迅速に対応できることが大きな強みです。電力自由化に伴い、今後は検針不要の「スマートメーター」や各電気機器の電力消費量を把握するシステム「HEMS(ヘムス)」の設置でも役割を果たすでしょう。

地域向けのイベントや様々な取り組みで高浜電工の知名度上昇中!

## 数字・事実で見る 高浜電工

### 社員数

**47名**

(2018年2月現在)

社員47名のうち、技術者は38名。地域に根ざした市内周辺の電気工事会社で、これだけの職人を抱えているところはなかなかありません。例えば、電気工事部の職人が取引先から「天井走行クレーンの修理もできる?」と聞かれることもあります。あらゆる声に応えられるのは、技術者が豊富で幅広い施工に対応できるからなのです。

### 株主・株式数の推移



実は、高浜電工は創業時から株主の出資を受けています。終戦当時、出資者を募って会社をつくるというご自分らしいことでした。当初は7名だった株主も徐々に増え、1975年には60名を超えます。株主とともに、社である「社会への貢献」を常に考え、実行してきたからこそ、今の高浜電工があるのです。

### 人材育成



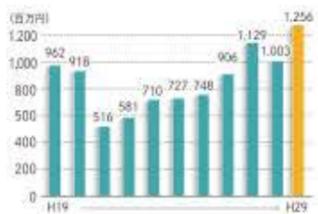
ひとり年間100万円。これ、何の数字だと思いますか?答えは、次世代の経営を担う幹部候補生たちにかけている金額です。教育にかけられるお金は未来への投資として惜しみません。若手社員の教育ももちろん重要です。例えば、プロの仕事人としての心得や行動指針を学ぶプログラム、人材育成の専門家と作成し、社内のベテランを交えながら実施しています。

### 施工実績



高浜市役所の新庁舎や高浜市立立小学校など、市内の大規模な工事に携わってきました。地元だけではありません。デンソーをはじめとした大手メーカーとも多数、直取引をしています。当たり前ではありませんが、施工ミスや事故がなく、アフターサービスも充実しているということなどから信頼いただき、長く取引を行っているお客様が多いことが特長です。

### 営業実績



創業当時は瓦産業から始まり、家具産業、自動車産業と時代のニーズに合わせて各産業を支えてきました。そこで培ってきたノウハウを活かし、近年は今後需要が高まることが見込まれる一般住宅向けのサービスも展開しています。様々な分野への試みもあり、リーマンショック当時は一時落ち込んだ売上もそれ以前の水準に回復し、順調に実績を伸ばしています。

### 人材定着率

入社3年後  
定着率 **90%以上**

平均  
勤続年数 **15年以上**

各々が問題意識をもちながら、自分の意見を提案する。聞き入れてくれる上司たちがいる。そして業務や職場環境を改善していく。裁量の高さが定着率に寄与しているのかもしれない。ショールームでご飯をつくって遊ぶわいわいするのが好きな人もいれば、秘密主義な一匹狼タイプなどいろいろな人がいるので、どんなキャラも馴染みやすいはず。

### 地域の中の高浜電工



2016年から、地域貢献活動として市内の小中学校を対象に「環境学習」の授業を実施しています。内容は、太陽光発電についての学習やLED照明のランタンづくり体験などです。理科・科学に興味をもつきっかけとなり、ひいては将来の建設・電気業界の人材確保につながるような思いのもと、取り組んでいます。

### 100年企業に向けた新たなチャレンジ



2014年に創業70周年を迎え、初めて大々的な周年記念行事を行いました。関係者が一斉に集ってチームワークを高めることも、100年企業を目指すにあたっては大事です。高浜電工は今、様々な挑戦をしています。提案営業のスキル強化。一般住宅向けサービスをさらに展開していくにあたって、地域対象のイベントを開催。未来を見据えて動き出しています。

# 高浜電工の

# バトンを次世代に繋ぐ。



「高浜電工を背負って  
いってくれよ」  
塚本専務の想いに  
突き動かされた30代の私。

LAST FILE  
新卒入社から  
叩き上げて  
社長  
タイプ

「人」がバトンを繋いでいくことで、はじめて会社は存続  
できるんだ。先代社長岩月の補佐、塚本専務のログセでした。  
よく仕事終わりに「飲みに行くか」と誘われ、その度に経営に関わる話を懇々と  
語ってくれたのをよく覚えています。まだ私が30代の頃です。当時の自分には分ら  
ない細かな話もありましたが、それでも彼の話を聞くのはワクワクしたものです。  
というも私、20代の頃から「いつか社長になりたい」という夢を持っていたから。  
会社の経営を担う人の生の声を聞けるというだけで刺激的です。彼は、まだ部  
長でも次長でもない平社員の私に、わざわざ経営の話をしてくださいました。「キリが  
ついたら独立するんだ。だから、人より何倍も早く仕事を覚えよう」。当時の自分は  
そんな風に必死だったので、端から見た時の働きぶりに期待してくれていたんだと  
思います。「高浜電工を背負っていってくれよ」。口にするこそなかなかけれど、  
彼にそう語りかけられている気がしました。期待をかけてもらえる嬉しさが、次第  
に使命感に変わっていく。高浜電工のバトンを受け継ぐ人にならなくては気がづけ  
ば、他のどの会社でもない、高浜電工の社長になることを強く望んでいたんです。

## 社員が向き合うべき 課題に集中できる環境づくりがミッション

高浜電工の創業者、神谷廣井は元々瓦を製造する会社の社長でした。  
「今後瓦の製造が自動化されて、電気工事の需要が一気に高まる」。そんな  
考えのもと、同士を募ってこの会社をつくったのです。私が入社したの  
は、営業の才能に長けた2代目湯浅勇二の頃。彼は自ら営業活動を行う  
傍ら、電気工事の品質向上を目指す「電気工事協会」の理事長を務め  
るなど、会社の基盤づくりに精を出しました。3代目の磯村隆は自動車部  
品メーカーで得た安全技術のノウハウを電気工事に展開し、安全対策を  
整備。就業規則の見直しなどがなされ、社員の待遇がぐっと向上したのもこの  
頃です。そして私の前任、岩月高。時代はバブル真っ盛りで投資の誘惑も  
たくさんあった中、堅実な経営で内部留保の資金を貯めていきました。そ  
の資金があったおかげで不況も乗り越えてきました。

代々それぞれが得意な領域を突き詰め、高浜電工を強い組織としてつ  
くりあげてきました。これからの時代、変化のスピードは更に早くなってい  
きます。創業70周年の節目を迎えましたが、100年企業になるには更なる  
努力が必要になるでしょう。そう考えると、私の後任が向き合うべき課題  
に向き合えるように環境を整えておきたい。それが、代々繋いできたバトン  
を受け取った私が、続く後輩たちに残すべきものだと思うのです。

## 追いかけてくる後進がいるからこそ、 精一杯力を振り絞る。

人材育成の場を増やす。電気工事士になることが身近な選択肢にな  
るよう、小学生向けに電気工事体験の機会を設ける。今後需要が増える  
一般住宅向けの電気工事を強化する。今後の会社のために必要と思っ  
たことは、これらをはじめとして全て行ってきました。新しい取り組みにチ  
ャレンジし続けるのは体力が要りますが、後任に引き継ぐ日まで、そうし  
た環境づくりには全力で取り組んでいくつもりです。

社長のバトンを受け継いで今日までを振り返ってみて一番思い出に  
残っている瞬間といえば、後輩の成長を感じる時でした。例えば、中部  
5県の電気工事会社が、工事技術を競う技能オリンピックの時。かつて  
社員時代に優勝を勝ち取った思い出のある競技会です。12年後、後輩  
のチームが再び優勝しました。若手だったメンバーがいつしか会社を牽  
引する技術を身につけ、高浜電工の強さを証明してくれた。自分たちの  
受け継いできた技術は確かに後輩に引き継がれているんだ。そう思う  
と、感動でうっさり涙腺が緩んでしまったものです。

後進がいるからこそ、振り絞れるパワーがあります。最後の最後まで、  
走り続けて、引き継ぎますよ。70年の歴史が込められたこのバトンを。

## 20代から抱いていた「社長になりたい」という想い、 まさか初就職の会社で実現するとは。 代表取締役 高桑 雄司

## 電気業界の未来



### 地球温暖化対策としての電気

LED照明器具やエコキュートは、発電で発生するCO2の排出量を従来の  
電気設備より大幅に削減できます。太陽光発電にいたっては、CO2を  
発生せずに発電することが可能です。電気工事業は地球温暖化対策にも  
大きく貢献しています。



### 電力自由化による スマートメーター、HEMSの導入

2016年から、消費者は全国の電力会社と自由に契約することができるよう  
になりました。それに伴い、電気料金の検針を不要にする設備「スマートメーター」を、  
今後すべての家庭に設置する工事が必要になります。家庭での各電気機器の  
電力消費量を把握したり、自動で電力消費の最適化を行うためのシステム  
「HEMS(ヘムス)」も同様です。



### 「モノのインターネット化(IoT)」

スマートフォンやパソコン、ゲーム機で行うWi-Fi通信など、インターネットを使  
用する生活が当たり前である現代では、そのインフラの構築にも電気工事業が  
役割を果たしています。近年は一般家庭だけでなくオフィスや工場でもIoT活  
用のニーズが高まっており、LAN配線の構築・増設・メンテナンスなどが必要と  
されています。

70 高浜電工株式会社  
創業七十周年お礼の会

2017年  
創業70周年

地域との交流強化

新たな社員教育の  
取り組み

ショールーム開設  
社屋リニューアル!

4代目社長 岩月

5代目社長 高桑

2004年  
社長に就任

あんなに  
いい笑顔  
初めてだったわ

ありがとうございます  
ごさいます!

高所作業車  
就業体験  
たよ〜

はいっ!

託した!!!

ガシッ